

自分の日々の授業や取組を振り返り、チェック☑してみましょう。

全職員が自校の児童生徒の課題について、“ジブンゴト”としてとらえ、学年や教科の壁を越えて、組織として取り組みましょう。

- 課題解決に向け、目指している方向性についての全職員による確認や共通理解をしていますか。
- 学力向上対策評価シートのマイプランで立てた取組を実践していますか。
- 成果指標に基づいて、定期的に自分の取組を振り返っていますか。



研修会の一層の充実を図るとともに、自分の指導した内容が児童生徒に定着したか確認したり、自己評価したりしましょう。

- 全国・県調査の問題を活用した授業改善に取り組んでいますか。
- 協働による教材研究や問題作成などに取り組んでいますか。
- 児童生徒の授業での様子や小テストなどを通して、理解の状況と日々の指導成果を確認していますか。



- ・全職員で、学力向上対策評価シートの課題解決に向けた取組内容を共通理解
- ・学年や教科の壁を越え、取組内容を全職員で共通実践

全職員による
共通理解と共通実践

授業改善に向けた
校内研修等の充実

- ・課題解決に向けた教材研究や評価問題作成などの研修会の一層の充実
- ・日々の指導状況や児童生徒の理解度の振り返りを確実に実施

児童生徒の学力向上対策 4つの取組

～「1時間完結」※の授業の徹底～

学習内容の定着に
向けた分かりやすい
授業の実践

家庭学習の充実に
向けた指導の徹底

- ・家庭学習の進め方の指導や内容の工夫改善
- ・家庭における適切な学習時間の確保
- ・PTAとの協働による『家庭学習の手引き』の活用の徹底

- ・授業改善リーフレットの活用の徹底
- ・児童生徒が主体的に取り組む授業による学習内容が分かる授業、力がつく授業の実践

どの授業でも授業のポイントをきちんと押さえることで、学年が変わっても教科が変わっても、児童生徒が安心して学べる環境をつくりましょう。

- 「めあて」は、児童生徒が具体的にイメージできるものになっていますか。
- 授業の中で「まとめ」「振り返り」の時間がとれていますか。
- 学習内容に応じて「書く活動」や「話し合う活動」を設定し、児童生徒に自ら考え、表現する場を与えていますか。



基本は1時間1時間の授業を充実させることですが、授業を補うものとして家庭学習の充実に向けて工夫しましょう。

- 宿題の出し方について、学校全体や学年、教科間で共通理解を図っていますか。
- 基礎・基本の確実な定着を図る内容と活用力を育成する内容のバランスをとっていますか。
- 家庭と連携し、達成感や自己有用感を味わわせるような児童生徒への働きかけを意識していますか。



※「1時間完結」・・・単元や題材などの内容や時間のまとまりを前提としながら、1時間1時間の授業をその時間のねらいを達成するものとして完結させること